

平成22年 5月14日
独立行政法人
日本原子力研究開発機構
敦賀本部

このお知らせは、国への報告対象トラブルではありませんが、炉心確認試験中に発生したものであり、参考までにお知らせするものです。

高速増殖原型炉もんじゅ
格納容器床下雰囲気酸素濃度計の停止について

高速増殖原型炉もんじゅは、炉心確認試験を実施していますが、平成22年5月14日12時20分頃、運転員の巡視点検において、格納容器床下雰囲気酸素濃度計*1がダウンスケール*2し、現場において酸素濃度計が停止していることを確認しました。

酸素濃度計のダウンスケール並びに酸素濃度計の停止は、酸素濃度記録計の指示記録から、11時02分頃と推定されます。

原因は、調査中です。

なお、環境及び炉心確認試験への影響はありません。

*1：格納容器床下雰囲気酸素濃度計は、格納容器の床下各室の窒素雰囲気中の酸素濃度を測定しています。酸素濃度は一週間に一回測定し、保安規定で定める3%以下であることを確認しています。5月9日の測定値は、0.45～1.00%でした。

酸素濃度計が停止した場合の代替措置としては、床下の雰囲気窒素ガスをサンプリングし酸素濃度を測定する方法があります。

*2：ダウンスケールは、指示値が最低値に低下することをいいます。通常は0.45～1%程度ですが、現在は0%を指示しています。

以上